

第2学年 生活科学習指導案

授業者 2年2組 降旗 和葉

1 単元名 「発見！町へとび出そう 2」

2 単元について Plan

(1) 単元の目標

- 自分たちが住んでいる町の公共施設などの見学を計画し、計画に基づいて探検ができるようにする。
- 町で働く人や町の様子などを観察したり、調べたりすることで自分たちの地域に関心をもち、人と関わる喜びを味わい、町のよさを伝えられるようにする。

(2) 単元の評価規準

観 点	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	◇前回の町探検と比べながら、町の良いところを見つけようとしている。 ◇メモしたことをもとに、気付いたことや分かったこと、思ったことをまとめている。 ◇自分たちの生活が、多くの町の人々によって支えられていることに気付いている。	◇安全に探検する方法やあいさつのしかた、インタビューのしかたなどについて考えたり話し合ったりしている。 ◇調べて分かったことや気づいて分かったことなどを、よりよい表現方法で表現している。	◇気づいたこと、分かったことを振り返り、まだ行っていない地域にも関心をもとうとしている。 ◇ワークシートをもとにマナーを守りながらインタビューしようとしている。 ◇分かりやすく伝えるようにするために、友達の発表についてアドバイスを伝えようとしている。 ◇今までお世話になった人に、感謝の気持ちを伝えようとしている。

(3) 単元の設定理由

1学期に東長崎駅近辺の町探検へ出かけ、長崎銀座やコンコン通りにある商店について学んだ。そこで今回は公共施設を中心に町探検を行う。町には商店だけでなく公共施設があり、みんなが利用できることやそこで働く人がいることを知り、正しく利用しようという気持ちをもたせたい。

3 児童の実態

この単元については、6月に商店への町探検を行っている。商店について興味をもち具体的なインタビューを考えることができた。また発表会では、商店だけでなく商店で働く人々に親しみを抱き、よさを伝えようと工夫して発表することができた。

今回の町探検では、まだ行っていない地域に出向き、主に公共施設に目を向けさせ、どんな施設が学ぶ。1回目の町探検での活動を生かし、積極的に見学やインタビューをしたり、よさに気付き伝え合ったりする活動につなげたい。

4 授業づくりの工夫 Do

(1) 参加しやすい学習環境づくり

【学びのユニバーサルデザイン～14の視点】 ○本単元の重点項目

参加	①リレーションづくり		
	②ルールの明確化		
	③刺激量の調整		
	④場の構造化		
	⑤時間の構造化	○	学習の流れの提示
理解	⑥焦点化		
	⑦展開の構造化		
	⑧スモールステップ化	○	ワークシート
	⑨視覚化	○	ワークシート
	⑩身体性の活用	○	板書の工夫
	⑪共有化	○	グループごとの発表練習
習得	⑫スパイラル化		
活用	⑬適用化	○	ポートフォリオファイルの活用
	⑭機能化	○	中間発表会の設定 発表会の設定

(2) 考えを深める学習方略

【思考スキルと思考ツールの活用】 ○本単元の活用

思考スキル	思考ツール		思考スキル	思考ツール	
多面的に見る	X、Y、Wチャート くまで手チャート PMI		見通す	キャンディチャート フィッシュボーン KWL	
順序立てる	ステップチャート プロット図	○	抽象化する	ピラミッドチャート	
焦点化する	ピラミッドチャート		具体化する	該当なし	
比較する	ベン図		応用する	該当なし	
分類する	ベン図、座標軸		推論する	キャンディチャート	
変化をとらえる	表、座標軸、 同心円チャート	○	広げてみる	ウェビングマップ	
関係付ける	コンセプトマップ、表		構造化する	プロット図、バタフライチャート、フィッシュボーン、ピラミッドチャート	
関連付ける	コンセプトマップ				
変換する	該当なし				
理由付ける	クラゲチャート フィッシュボーン	○	要約する	ステップチャート	
			評価する	KWL、座標軸	

5 単元指導計画（20時間） Plan

過程	時	○主な学習活動 ・留意点	◇評価規準【評価の観点】
①ふれる・つかむ	1	「もっと 町を 知りたいな」 ○6月の町探検を振り返り、まだ行っていない地域について考える。	◇気づいたこと、分かったことを振り返り、まだ行っていない地域にも関心をもとうとしている。【主】
	2・3	○町探検（公共施設編）の発見探検へ行く。 ・商店街へ行ったときとの違いを考える。 「たんけんに行く けいかくを立てよう」	◇前回の町探検（お店編）と比べながら、町の良いところを見つけようとしている。【知】
	4	○探検グループを作り、探検する場所を決める。	◇グループごとに探検の詳しい計画を立てようとしている。【主】
	5・6	○探検の計画についてグループで話し合い、探検計画書をつくる。	◇安全に探検する方法やあいさつのしかた、インタビューのしかたなどについて考えたり話し合ったりしている。 【思判表】
	7	「町たんけんに出かけよう」 ○グループで町探検に行く。 ○気づいたことや分かったことをまとめる。 ○活動の記録を整理し、グループごとに振り返る。	◇ワークシートをもとにマナーを守りながらインタビューしようとしている。 【主】
	8・10.	「たんけんしたことをみんなに知らせよう」 ○知らせる方法を話し合い、発表会の準備をする。（紙芝居、劇、ペープサートなど）	◇メモしたことをもとに、気付いたことや分かったこと、思ったことをまとめている。【知】
②ひろげる・かんがえる	11・14.	○発表練習会を開く。	◇調べて分かったことや気づいて分かったことなどを、よりよい表現方法で表現している。【思判表】
	15・16.	○発表練習会をもとにして、発表のしかたを改善させる。	◇分かりやすく伝えるようにするために、友達の発表についてアドバイスを伝えようとしている。【主】
	17.	○発表会のリハーサルを行う。	◇自分たちの生活が、多くの町の人々によって支えられていることに気付いている。【知技】
	18.	○町の自慢発表会を開く。	
	19.	・お世話になった地域の人や家の人を招待する。	
③まとめる・いかす	20	「ありがとうを 伝えよう」 ○町の自慢をまとめ、感謝の気持ちを伝える。 ・町探検でお世話になった方々に、お礼の手紙・カード等をかき、感謝の気持ちを伝える。	◇今までお世話になった人に、感謝の気持ちを伝えようとしている。【主】

6 本時の学習（16／20時間） Do

（1）ねらい

- 調べて分かったことや公共施設のよさを聞き手に分かりやすく表現している。
- 友達の発表がよりよくなるようなアドバイスを考え、伝えようとしている。

（2）展開

過程	学習活動	○指導上の留意点 ◇評価基準【評価の観点】
ふれる・つかむ	1 めあてを確認し、学習の流れを知る。 話し手 聞き手に 調べて分かったことやよさをつたえよう 聞き手 話し手に おうえんアドバイスをおうろう	○指導上の留意点 ◇評価基準【評価の観点】 ○発表するとき、聞くとき、それぞれめあてをもって活動できるよう、声かけをする。 ○学習の流れ 発表練習会、ワークシート、チーム確認タイム、おうえんアドバイス、全体発表 ○カードに記録する視点を全員で共有する。 ・内容について（よさ） ・資料について（使った物） ・態度について（声の大きさ、話す速さ）
ひろげる・かんがえる	2 グループごとに発表し、ワークシートに記録して伝え合う。 （○話し手チーム、●聞き手チーム） ○南長崎スポーツセンター ・利用について ・働く人の工夫 ○区民ひろば椎名町（赤ちゃん・子ども） ・利用のしかた ・利用者のための工夫 ○老人ホーム風かおる里（利用者） ・老人ホームという施設について ・お年寄りの過ごし方 ●区民ひろば椎名町（お年寄り） ・施設の目的 ・利用のしかた ・利用者のための工夫 ●はらっぱ公園 ・公園の特徴、イベント等 ・防災のための工夫 ・管理について ●老人ホーム風かおる里（働く人） ・老人ホームという施設について ・お年寄りが快適に過ごすことができるよう工夫していること	○分科会方式で発表練習会をさせ、前時と話し手・聞き手を交代して、どちらの立場も1回ずつ経験できるようにさせる。 ○始まりと終わりの合図をする。 ○発表後に各自ワークシートに記入させ、グループでアドバイス・反省の確認を行う。その後、おうえんアドバイスを伝えるよう指示する。 ◇調べて分かったことや気づいて分かったことなどを、よりよい表現方法で表現している。（話し手） 【思考力、判断力、表現力等】 ◇分かりやすく伝わるようにするために、友達の発表についてアドバイスを伝えようとしている。（聞き手） 【主体的に学習に取り組む態度】
まとめる・いかす	3 発表練習会を通して考えたことを発表する。 4 次時の活動を確認する。	○出た意見の中から、本番でがんばりたいものに挙手させる。 ○アドバイスを基に、自分の担当やチームの発表をよりよくする活動に取り組むことを伝える。

(3) 板書計画

発見！町へとび出そう 2		話す	聞く	
【めあて】		A南スポ B区民（子ども） C老人ホーム（利用者）	Aはらっぱ B老人ホーム（働く人） C区民（お年より）	本ばんにがんばること
話し手				
聞き手に 調べて分かったことやよさを つたえよう		パワーアップ カード	おうえん カード	・ ・ ・ ・ ・
聞き手				
話し手に おうえんアドバイスをおうろう				
【今日のながれ】				
①発表練習会		南スポ写真	老人ホーム 写真	
②パワーアップカード・おうえんカード				
③チームかくにんタイム				
④おうえんアドバイス		区民写真	はらっぱ写真	
⑤全体ふりかえり				

(4) 課題設定の判断基準表（ルーブリック） Check

観点	話し手 思考力、判断力、表現力等	授業者が想定する具体的な活動状況
レベル3	よりよい表現方法で <u>分かりやす</u> <u>く</u> 表現している。	(発表の内容、技能ともに○) ・インタビューしてきたことに考えを付け加え、インタビュー内 容がより伝わりやすくなる資料を示す。 ・施設のよさについて思ったことを伝えている。 ・相手を意識して分かりやすく発表している。
レベル2	よりよい表現方法で表現して いる。	(内容、技能のいずれか○) ・インタビューしてきたことに関する資料を示す。 ・思ったことを伝えている。 ・大きな声で発表している。
レベル1	表現することが <u>難しい</u> 。	(内容、技能ともに△) ・インタビューしてきたことに関する資料が上手く活用できない。 ・思ったことを伝えられない。 ・発表のしかたがたどたどしい。

(5) 児童の自己評価 Check

話し手用のワークシートに自己評価◎○△と理由を記入する。（ワークシートはP.○参照）

7. 授業の改善の工夫 Action

(1) 個人への手立て

評価の合致度	教材	場所	形態	時間	その他
教師の評価が高く 児童の評価が低い	当該児童から不十分だと思っている部分を聞き取り、その部分について教師が適切な評価を直接伝える。				
教師の評価が低い 児童の評価が高い	教師が当該児童へ、良い点を認めながら、改善すべき点に注目させ、まだ十分に伸び代がある部分を直接伝える。				
教師の評価が低い 児童の評価が低い	発表テーマ及び資料を適切に選択できるように個別に関わる。	教師がサポートしやすい場所に設定する。	グループの編成時に配慮をし、アドバイスをもらいやすいようにする。	机間指導中に個別指導の時間を作る。	励ましの声かけで自信をもたせ、堂々と発表できるようにする。

(2) 授業の改善案

教師と児童の評価	教材	場所	形態	時間	その他
レベル3が多かった	○	○	○	○	○
レベル2が多かった (レベル3に近づけるために)	施設に関する資料を豊富に用意し、学びをより深いものにする。	発表の声が聞きとりやすいように、より間隔を開けたリ、向きを工夫したりする。	グループ活動が活発に行えるような、メンバー構成をする。	進捗状況に合わせ、次の課題達成までの目標時間をこまめに設定する。	ビデオを活用し、自分たちの発表を自分たちで振り返り、改善できるようにする。
レベル1が多かった (レベルアップのために)	発表原稿の具体例を示し、必要に応じてワークシートを作る。	広い場所や別室を利用したり、発表の組み方を変えたりして、しっかりと伝えたり、聞き取ったりできるようにする。	グループを少人数にして、協力しやすくする。	全体的に活動時間が不足している場合は、時数を増やす。	個別指導の時間を増やす。